

佛蘭西の國民性に就いて

法學士 五 來 素 川

佛蘭西の國民性に就いて話して呉れと云ふ加藤さんからのお依頼がありまして、極く秩序もない唯々自分の經驗を纏綴して通俗的のお話を致すのであります。

佛蘭西の小學校で教師が子供に作文を教へるときに二ツの綱領を與へるのであります。第一は軽く書けと云ふこと、第二は明白に書けと云ふこと、佛蘭語で申しますとレジエールマン及び、クレールマンであります。此軽くさうして明にと云ふ二ツの性質は、之を以て殆ど佛蘭西の國民性全體を蔽ふことが出来ると思ふのであります。一體佛蘭西人は人種的に之を研究致しますると勿論多少の雜種にはなつて居りますけれども、其大本はゴール人であります。ゴール人と云ふ人種は學術上果してセルチック人種即ち英吉利のアイerland、及びウェールズ、佛蘭西の英吉利に向つた方面のブルターギョ州あたりに居るところのセルト人と同人種であるや否やと云ふことは、いろいろ議論があつて決定しないことでありませうけれども、併し兎にも角にもゴール人種は日耳曼人にして亦日耳曼人にあらず、セルト人にして亦セルト人とも違ふと云ふやうな一種の人種であつて、それが唯今の佛蘭西地方に昔から住んで居つた

と云ふことは争はれないのであります。此人種はシーザーの『ゴール戦記』と云ふ書物に書いてあります通り、其性質が如何にも輕快にして且つ非常に動的モビである。即ちモビリティデーに富んだ動くことが好きな、つまり英吉利人などのドツシリした變らないと云ふよりは、寧ろ變化が多くつて、頓智に富んだ一種の輕い國民であつた様であります。併乍ら一方に於て御存知の通り佛蘭西人の言語其ものは是は全くラテン系統のものであります。ラテン語即ち羅馬人の言語が變化して今日の佛蘭語になつたと云ふことは争へない。即ちゴール人は羅馬人に征服せられ、其言語を棄て、羅馬人の言語を採用したのである。此理由を以て佛蘭西人をラテン人種と稱するのでありますけれども、併し是は人種の上からのラテン人ではなくして文明の上からのラテン人であるのです。ラテン文明の特質は一種の合理性の發達であります。一種のラシヨナリズムである。御存知の通り羅馬人の特質は論理的であることで、凡てのことを秩序的に考へる。即ち羅甸語の組み立てを見ても、彼等が法律を以て萬事を治めることを好んだ點から見ても此特質は明であります。即ち輕くさうして明にと云ふ作文を作る上の二ツの綱領の其輕いと云ふ方面に於てはゴール人の性質と似て居り、明にと云ふ方面に於てはラテン人種の性質を表はして居ると思ふのであります。此二ツの性質モビリティとラシヨナリズムと云ふ此二ツの傾向がある。動的であると云ふことと、さうして合理性に富んで居ると云ふこと、此二ツの傾向が佛蘭西の凡ての方面に表はれて居ると私は考へるのであります。

第一佛蘭西人の性質は其ヂェスチユアに顯はれて居るをみますには彼等の物を話すときに彼等は必ず手眞似身振をする。吾々日本人が初めて佛蘭西に行つて一番氣の付くのは其點であります。是は英吉利人にはサツバリございませぬ。獨逸人にはございませぬが併し佛蘭西程ではない。さうして其佛蘭西の手眞似身振と云ふものは勿論吾々東洋人から見ると慣れませぬからして餘程變に思はれます。けれども歐羅巴に長く居つて見ると、佛蘭西人の手眞似と云ふものは非常に表情的なものであつて且つ藝術的なものであると云ふことが分かる。芝居のことを研究する人の話を聞くと、獨逸人の役者になるものは、第一に先づ手眞似から研究しなくてはならぬ。つまり手眞似で自分の感情を表はすと云ふことから稽古をしなければならぬ。所が佛蘭西人は其必要がない。佛蘭西人は先天的に手眞似で自分の感情を巧みに表はすことが出來ると云ふことであります。でございませぬから、あの日本に參りまする活動寫眞などでも、多くのものは多分佛蘭西のものであらうと思ふ。兎に角ヂェスチユアに富んでゐることは佛蘭西人の特長である。隨て凡ての話の仕方が、何時でも元氣よく從て他人を釣込む力が非常に多い。其結果としては國民が非常に社交的である。一體佛蘭西の言語と云ふものが甚だ社交に適したものでありまして、彼等國民は佛蘭西語と云ふものを饒舌らずには居られない。十九世紀の初めにマダム、スタエルと云ふ有名な文學者がありましたが、其人の言に依ると、昔佛蘭西人が北亞米利加カナダに移住したときに人跡が非常に稀であつて彼等は非常に散つて居つたが、一週間に一度は十五里四方位の間に居る人が互に集まつ

て話をせずには居られなかつた。話をすると云ふことが既に一ツの慰みであつた。彼等は佛蘭語と云ふものを饒舌らずには迎も居られないと云ふ位に一種の社交性を有つて居る。此社交性に伴つて其言語と云ふものが出来て居る。

佛蘭西の實際社會と云ふものは實に發達したものでありますが、其一番の道具は何であるかと云ふと言語である。其言語を巧みに用ゐること即ちウィット(頓智)と云ふことを非常に尙ばれる。それは國民性が非常に動的であるからで、さうして何でも早業を尙ぶからである。第一、言語其ものが早い。佛蘭西語は非常に短音が多い。大抵な語はラテン語から來るのであるが、其羅旬語の語尾の方は皆略して仕舞つて極く短くなつて居る。一寸一例を申しますと、よく佛蘭西語はむづかしい、言ひにくい文句として子供が發音の練習に使ふ句があるそれはトンテタタルオーテタットと云ふ事である。其意味はお前の茶がお前の咳を止めたか、即ち茶を飲んで咳が止まつたか。此句の中でオーテと云ふ語を除いては皆單音である、是は凡て物を短かく簡單にすることを尙ぶことから來た結果である。隨てさういふ早いことを尙ふ上からは頓智を尙ぶ。日本でも随分頓智と云ふものは面白いものとなつて居りますが、決して佛蘭西で尙ばれるやうな價值はない。若しも和田垣謙三さんが佛蘭西人ならば大變なものである。一ツの名物のやうになるに違ひない。日本では頓智と云つた所でそれほど大變な特長ではない。寧ろ沈黙寡黙なんと云つて、黙つて居る人の方が尊ばれる。佛蘭西では娘のお聲さんを探すときに、あの人は頓智が

あると云ふことが非常に大切な條件となつて居る。さういふと何だか輕薄のやうに聞こえますけれども一方に於ては頓智其ものに依て人間の頭腦を試験すると云ふことが一ツの特長になつて居る。佛蘭西語で頓智のことをエスプリーと云ふが、此エスプリーと云ふことが十七世紀頃から佛蘭西の文學上より段々發達して來まして、さうして佛蘭西國民の一の特性として今日の位重んぜられて居るかと思ふと驚くべきものである。議會其他に於て論戰の際に互に取換はす語、其早くして而も敵の急所を衝くと云ふことが喝采を受ける。其他凡て社會全般に於てエスプリーのない人と云ふものは人から愚弄される原因になる。今でも私一寸覺えて居りますが、或時巴里の法科大學で教員が一人非常な不評判になつて、講壇に上ると學生が手ばたきして妨害をする。所が其教員がたつた一言言つた。それは何だか今覺えませぬが、其一言が非常に學生の氣に入つた頓智であつたので、それで以て手をバタ／＼やつて妨害することがスツカリ止んで了つた。さういふことがある。日本でも所謂詩歌などにはあらはれた場合にさういふことがある。源義家が安倍眞任を許した場合『衣の館は結びにけり』とか、或は源賴政の『弓張月のいるに任せて』とか云ふ一種の詩歌上の頓智を尙ぶことがあります。乍併ら佛蘭西人が頓智を尙ぶ程度とは到底比較にならぬ。隨て雄辯と云ふことが亦非常に大切なものとなつて居る。佛蘭西で大政治家であるかと否とを區別するには寧ろ議會に於ける議論の仕方に依てきまる、東洋では大政治家と云ふものは却て黙つて居る。あまり饒舌るのは末輩の仕事である。然るに彼等は雄辯と云ふことを尙ぶ。而も其雄辯と

云ふものが一種の技術である、一種の文學である。例へば唯今佛蘭西には佛國文學院アカデミー・フランセーズといふものがある。是は一組四十人と限つてあつて、それに這入ると云ふことは餘程困難なことである。そこで一人死ぬと其補缺選舉の競走が激烈である。ゾラの如きは常に落選した、此重要なる名譽ある、學會に雄辯と云ふことを以て這入て居る人が澤山ある。例へば大統領のポアンカレポアンカレ氏とか、今度大藏大臣になつたりボボー氏とか、衆議院議長シャネルのデシヤネル氏とか是等は文學上の著述はないが、演説と云ふ方面で這入つた。是は希臘時代の影響でありまして東洋人には理解出來ないことではありますが、兎に角頓智的に凡ての場合々々に巧みな語を以て混雜せる事件を明細に且つ華やかに述べるものが出來ると云ふことを一ツの技術として居る。是は佛蘭西人がモピリタイモピリタイに富んだ性質の結果に過ぎないと思ひます。

佛蘭西人は斯くの如く一種の軽い性質、動く性質の結果として、亦非常に茲に快澗の性質を備えて居る。佛蘭西人は非常に笑ふことを好む。日本人も随分元氣の好い方であるけれども、併乍ら根本に於て悲哀と云ふことを大變に愛する性質がある。音樂を見ても分かる。幾ら日本音樂が快澗だと云つても西洋の快澗な音樂には敵はない。日本人の曲は凡て悲哀的である。殊に芝居は所謂コメヂコメヂと云ふものが大抵發達して居ない。所が佛蘭西などでは今では殆ど喜劇ばかりである。悲劇と云ふものは極く僅なものです。それで芝居に行つてキャツキャと笑つて一晩暮らすことが非常な樂みである。他の英、米人よりは遙に快澗である。米國の有名なホーンソンのスカーレット・レッツァーの緋文學と云ふ小説がありますが、それが活動寫眞になつ

て巴里に來たときに見に行つた。深刻な悲劇なので私は非常に面白いと思つて見て居ると其一所に行つた家族のものは、折角一夜の感興を害されたと云つて怒つて居た、日本の芝居と云ふものは多くのものが悲劇である、所が佛蘭西では大部分が喜劇であつて悲劇と云ふものは僅な部分しかない。それは極く下等な芝居でやつて居る位なものであります。

次には佛蘭西人は軽い動的な結果として出来る一種の猛烈な、突撃的な勇氣と云ふものがある。勇氣と云ふことも亦佛蘭西國民の一ツの性質である。是は唯今戰爭もありますし随分大切な問題であります。普佛戰爭の頃佛蘭西が負けたと云ふところから、近頃は佛蘭西人の勇氣を大變疑ひますけれども、併し歴史的に之を研究すると、佛蘭西國民の勇敢であると云ふことは争はれない。第一彼等の決闘を好むことは驚くべきである。十六世紀から十七世紀にかけてリセリユーと云ふ政治家が二十年ばかり佛蘭西の首相になつて居つたことがある。其時には非常に佛蘭西の子弟が決闘をして仕様がな。そこでリセリユーは若し決闘をするものがあれば絞罪に處すると云ふことを嚴格に布令した又之を實行した。其爲めに彼れは赤いカルヂナルと云はれた、之は緋の衣を着て居ると、人を澤山所刑したからである。それほど嚴密に決闘を禁じたにも拘らず彼れの治世二十年間に於て貴族の子弟にして決闘のために命を落したものが實に四千人あつた。今日でもやはり決闘はある。其決闘たるや生死の決闘である。それは多くはエペと云ふて斬る刀ではない。刺す刀で三角になつて居る細い劍である。それからピストルも用ゐらるゝ、近頃

ではカイヨー(前の大藏大臣)と云ふ人が政治上の喧嘩をして其結果細君がカルメットと云ふ新聞の主筆を擊殺した。其爲めに決闘が起きた然るにカイヨー氏は名譽の爲めに決闘を申込んだが、人を殺す者はないのであるといふ所からピストルを空に向けて撃つた、此様な武士的精神が今でもある。御存知の通り飛行機は佛蘭西で出来て而も之を乗ることを發達したのは佛蘭西人である。獨逸などでは其始め佛人が来て乗つて見せた時、獨逸人は自ら乗れないで國民が其乗手を嘲笑つて居た。然るに佛蘭西人は幾ら死んでも、死んでも飛行機に乗らうとする者がドン／＼出来る。近頃はまた飛行機の倒乗りを始めた。獨逸人などは感服して居る。兎も角も佛蘭西人の血脉の中には勇敢な血が流れて居る。御存知の通りヲートルローの戦争の時にゼネラル、カンブロンといふ大將が英吉利の軍隊から降参をしると言はれた。其時にメルドと言つて答へた。糞を喰へといふことです。今日でも糞を喰へと云ふ語を云ばうと思つて體裁のわるいときにゼネラル、カンブロンといふ。此の如くに一種の勇敢なる氣象から死ぬ迄降参をせずに戦つた兵隊が澤山ある。本當に佛蘭西國民が奮發して戦つたらなか／＼獨逸に負けないと思ふ。

私は決闘の話の序に獨逸の決闘をおかしく思つて居ることをお話致します。獨逸人は非常にバニチーが強い。威張ることが好きである。空威張をする。大變に自慢をする。其結果は双方が威張れば其結末を付けねばならぬ。其處で決闘をする。其決闘たるや決して死生の積りではない。一寸頬でも斬られ、ばそれでお仕舞である。目を隠したり咽喉を隠したりして一寸決闘のやうなことをする。顔に傷が出来

ると云ふと嫁さんが貰いやすいとか、教育があると云ふことを證明するとか云ふ様なことからするのである。所謂飾り、御化粧の氣味があると思ふ。此様な風で獨逸の全體が既に成上りで上飾りで、砂の上に建てた家の様に根據のないことが多いのである。製造工業は他國の眞似をする。近頃は頼山陽の掛物の獨乙模造品が日本へ輸入せられて居ると云ふ。日本の瀬戸物も模造されて居る。兎に角一種の胡麻化し細工で、砂の上に建てた家の様なものである。今にもう少し負けて來たならば其破壊は大厦の一時に覆へる様になりはしないかと思つて居ります。觀兵式などの具合を比較して見ても、獨逸の觀兵式は其十萬と號して其服裝の華美なる丁度オペラのパレットを見るやうな感がある。佛蘭西のは着實にやつて居る本當の所を言つたら佛蘭西の方が強くはないかと思はれる節がある。

併し佛蘭西人も亦澤山の缺點はある。最恐ろしい缺點は、彼等は私情的パツヨネイトである。さういふ點が甚だ多い。でございますから、政治なんと云ふものは何うしても旨く行かない。英吉利人は遙に佛蘭西人よりも理性的であるから政治でも理性的で、議會に於ける政黨の懸引きでもやはり着實である。佛蘭西人の方には非常に一種の理窟を尙ぶ點から理想といふことを重んじて、政治の意見が少し違ふと直に一の黨派をつくる佛蘭西の議會には十も二十も黨派がある。英吉利では多少意見は違つても、自由黨は一團となり、保守黨は一團となる。自由黨の中に幾つも色別けがあるに拘らず自由黨として運動する、而も首領の命令に隨つて運動をする。佛蘭西は少し意見が違ふと直に離れる。其上に一種の私情がある。彼奴が憎

い、彼奴が羨ましい、彼奴がどうだと、それが實に多い。是は實に佛蘭西人の缺點であると思ひます。佛蘭西人が自分で嘆息して居る。吾々は個人としては偉い國民である。けれども集ると馬鹿なこと許りして仕方がないと云つて居る。何うしても政治的の國民でないと思はれる。政治的國民と云ふ點から云つたら英吉利人や日本人の方が遙に宜いと思ふ。それで昔から随分政治上の争ひよりして虐殺をしたことが澤山ある。有名なセントバーツロミューの虐殺とか、ギース公の虐殺とか随分さういふことが昔から多い。殊に甚しいのは御存知の通り佛蘭西革命である。此時代の暗殺此時代の虐殺と云ふことは多くは一種の私情に出でて居る。彼奴がにくいと云ふ程度のもが多い。或時の如きはロビスピールが外國と通じて居るのではないかと云ふ嫌疑で捕へて首を斬らうとしたものが十萬人もあつた。それは確三千人ばかり斬つて、あとは助かつたのでありますが、兎に角一種の猜疑とか嫉妬とか云ふ私情のために人を害することが非常な缺點であります。唯今佛蘭西の議會では内閣の更迭が頻々である。其原因は何であるかと云ふと國家の大事と云ふことの間に一種の私情を混へて、あれが憎いとか、羨ましいとか云ふことの爲めに内閣を更迭させる場合が多いのであります。所謂パツシヨネットである。議論をして居るのを見ると實にひどいです。喰付くやうにしてやつて居る。先日もカイヨーと云ふ人とブリアンと云ふ人と政治上の争があつた。カイヨーは急進黨を代表して居る。ブリアンは愛國主義を代表して居る。さうしてブリアンの方の新聞のカルメットと云ふ主筆がカイヨーの人身攻撃を初めた。さうすると其細君が

やつて来て。其カルメットを鐵砲で撃殺した。さういふ有様である。皆一種の私情から来て居る。其外に犯罪などを見ても随分バツシヨネットの犯罪がある。吾々日本人には到底説明の出来ないことがある。有名な話であるから諸君は御存知であらうと思ひますが、スタイネルと云ふ女の疑獄があつた。大變な騒ぎであつた。それは何であるかと云ふと、夫は畫工であつて細君は不品行な者であつた。いろ／＼贅澤をした爲めに金がなくなつた。其爲めに他の或金持の田舎の紳士と結婚したくなつて、どうかして夫を殺さなければならぬ。仕方がないから或晩に自分で夫を絞殺してさうして他人から絞殺された様に示すために、自分の口へ綿か何か詰めて、自分の體を寢床に縛り付けた。それはまだよいが同時に母親を殺した。母親と夫を殺した譯です。あの女が夫を殺したのではないかと云ふ嫌疑を防ぐ爲めに母親を殺した。けれども、佛蘭西では一種の證據裁判で、明確なる證據のない以上は自白しなければ何うしても罪にすることが出来ない。それでとう／＼其女は無罪放免になつた。併し其時の騒ぎと云ふものは非常なものであつた。さういふ風に犯罪でも非常にバツシヨネットな犯罪が多い。此等に依て見ると、日本人の理性的なことは驚くほどである。私は外國から歸つて来て唯今新聞を引受けてやつて居るが、何うしても面白い新聞が出来ない。と云ふのは、材料がないからです。吾々の商賣が繁昌する様では社會が悪るいのですから是は日本の社會の爲めには勿論慶さなければならぬことでありますけれども、新聞屋になると困まるのです。何うしても面白い新聞が日本では作れない。歐羅巴では歐羅巴全體が得意

で、歐羅巴各國に起る事件が直に新聞の材料に上るのでありますが、其點ばかりでなく、日本人が理性的であるから新聞が面白くない。それは面白い犯罪をやつて呉れと云ふことは云へませぬが、兎に角日本の新聞と云ふものは面白くない。私共非常に骨が折れるのであります。いろいろ工夫して外の方面で面白くしやうと思つてやつて居りますが、大變さういふ感じを深くしました。

此パツシヨネットであると云ふ結果は何うなつて來るかと言へば、益々社會に享樂主義が發達して來るのです。幸福を重んずると云ふことが發達してそれが快樂主義に轉じ享樂主義になつて、さうして金さへあれば宜い、仕事をしない方がよいと云ふ氣分が佛蘭西で發達して來た。是は決して佛蘭西だけの罪ではない。歐羅巴全體の傾向であつて、殊に佛蘭西は文明が一番進んで富の程度も一番高いので、隨て人間が遊んで暮さうと云ふ考を起こじて來たに違ひないが、其結果はどうなるかと云ふと、人口の減少と云ふことになる。樂をしたいと云ふことを一番妨げるものは子供の殖えることである。子供が殖えれば親は樂が出来ない。又其子を愛すれば愛するほど成るべく子供に樂をさせたいが爲めに澤山な資産が遺したい。資産を遺すには子供を少し生んだ方が宜いと云ふことになる。斯う云ふことから自然と子供が少くなる。日本の家族主義は此點に於ては全く反對の傾向でありまして、子供が多ければ多いほど親が樂が出来る。子供が多ければ其子供にかゝれる、自分の老後の生活が易くなる。斯う云ふ點から人口の殖えると云ふ傾向がある。是は支那及日本に通じて共にある所の傾向で非常に慶すべきことであり

ます。歐羅巴で享樂主義が盛んになつて來るのは獨り佛蘭西ばかりではない。獨逸の都會に於ける統計を見ますと、やはり段々人が減する。所謂獨逸人は子供を二人以上持つてはいかぬと云ふ主義である。獨逸の人口はだん／＼減じて居る。是は歐羅巴全體の傾向でありますが、私此點に就いて深く乃木大將に敬服するのであります。歐羅巴の文明殊に佛蘭西の如く文明が益凝つて來ると何うしても剛健の思想が滅つて來る。つまり乃木大將の自殺したと云ふことは何かと云ふと、大將は、體は野蠻人で頭腦は西洋人でなければならぬと言つたが、つまり肉體は苦めねばならぬ。一種の蠻的な剛健な氣風がなければならぬと云ふことから、やはり自殺までなさつたのではあるまいかと私共解釋するのである。さう解釋する方が日本の社會に於て利益であると思ふ。所謂國民の剛健なる氣風を保つて置かなかつたならば國家の將來及文明の將來に於て憂ふべきものがあるのでございます。

次に少し佛蘭西人の頭腦の方のことに就いてお話ししたいと思います。佛蘭西人のラテン人種から受けた巧利的性質の結果はどうなるかと云ふと、非常に抽象的な考が多い。隨て數學とか論理とか云ふものが發達する。是は所謂ラテン文明の影響であります。又同時に非常に國民が秩序の考が發達して居る。御存知でありませうが、巴里に參りますとリュキサンプールと云ふ公園があつて其所に今上院になつて居る宮殿がある。其所の庭を見ると左右とも同じやうに出來て居る。其シンメトリカルな有様、樹の植方でもチャンと列をつくつて居る。吾々東洋人から見ると非常に無趣味に感ずるが、それは佛蘭西の秩

序と云ふ考であつて、其因て來たるところはラテン文明の所謂秩序の考、合理的の考と云ふものが表はれて居るのである。此精神と云ふものは國民全體にあるだらうと思ふ。秩序と云ふ考を以て物の始末をしなければならぬ。一錢でも餘計に使つてはいかぬ。其結果節儉と云ふものになつて、隨つて有名な貯蓄心となつて居る。貯蓄心の偉いことには實に感服する。どんな奉公人でも、下女でも下男でも貯蓄をして居ないものは一人もない。さうして其金の毎年殖えることは實に夥しい。農業家が貯蓄をする高が一年に二十億法（八億圓）と云ふことである。毎年佛蘭西で殖える金高と云ふものは夥しい。其來るところは所謂秩序的の精神である。始末が宜ひと云ふことから來るのであります。

佛蘭西國民のもう一つの特色は御存知の通り藝術趣味であります。藝術の趣味と云ふものは何であるかと云ふと、要するに人間のセンチピリチーが理性でもつて規則立てられたものである。佛蘭西國民の藝術的能力と云ふものは世界で第一であります。僅に英吉利人が一の派を唱へ居るだけで其外亞米利加でも日本でも悉く佛蘭西の藝術と云ふものに風靡されて居る。殊に驚くのは流行です。今日新しい流行がすると明日は既に伯林に來て居る。流行と云ふことは吾々はつまらぬことと考へるが、併しそれが人間の趣味全體を支配して居る。各國の人間の生活の大部分を佛蘭西人が支配して居ると云つても宜いのであります。

最後に至つて一番大切な佛蘭西人の特長、吾々の一番敬服する特長は何であるかと云ふと、彼等の發

明心であります。是は世男各國の誰でも及ばない。實に一種の天才的國民である。其因つて來たるところは、即ち前に申した様に、非常に物事を明に考へる、明白なる思想を有つて居る。亦一方には頭腦の早く一種のモビリチーから出て來る。つまり想像力と物を明に考へると云ふ二ツさへ結付けば直に發明が出來る。根本の原理を究めて一方に想像力と云ふものがあれば直に發明が出來る。近頃佛蘭西の有名なる所の發明としては、御存知の通り、ラヂウムとか、飛行船とか、飛行機とか、或は自動車とか、悉く佛蘭西の發明である。獨逸などは後を受けて完成するのみである。完成すると云ふのは是は善く言つたので、悪く云へば下働きである。さういふ風な科學や工學の方面ばかりでなく、芝居に就いて見ても驚く。巴里に四五十の劇場がありますが其劇場へ毎年上がる所の演劇と云ふものは皆佛蘭西人が作り出す。殊にどれを見ても傑作である。さうして毎年變はつて來る。其外舞臺に上されないものがどの位あるか知れない。其物を編出す力と云ふものは實に驚くべきである。先程も申した通り、歐羅巴各國をあるいて見て何所にでもあるものは佛蘭西の活動寫真である。兎に角物を編出す力が非常に多い。チョツトした犯罪でもなか／＼奇抜なものがある。お聞きでございませうけれども、佛蘭西に自動車強盜と云ふものがあつた。實に奇抜な考である。まだ自動車が出来た計りであつて警察が自動車を用ひて居らなると云ふことを知つて居つたので、彼等は所謂奇想天外の犯罪法を發明した。先づ自動車を何所からか盗んで來て、さうして東京で云へば日本橋のやうな一番盛んな所へ二三人で乗つて行て、銀行の前で待

伏せをして居る。銀行の小使が集金をして何萬圓と云ふ金を袋に入れて持つて來る。それを突然殺し金を奪取つて自動車で逃げ出す。誰がやつたか分らない。警察には自動車はないし。一方は自動車で逃げるのであるからなか／＼犯罪人が捕まらない。さうすると今度は田舎の銀行の支店へ暴れ込んで、其所へ四五人働いて居る者を打殺して了つた。驚いて巴里の警察では自動車を買込む。議會は警察に自動車を買込むと云ふことの議決をした。兎に角私は奇抜であると思ふ、犯罪人まで天才的であると感服した位であります。

要するに斯う云ふ發明力とか云ふことは吾々日本人には缺乏して居る。昔から眞似ばかりして居る。であるから佛蘭西人は物を初める人を喜んで眞似をする者は大嫌ひである。日本人は反對に眞似ばかりして居る。是は實に教育家諸君にお願いしたいと思ふ。どうしても開發的開發的の口ではかり言はずに實際に於て學生を開發的になければならぬと思ふ。暗記ばかりしても仕樣がないと思ふ。學生を養成することは、どの科目も出來なければいけないと云はずに、何か一科目でも出來るならばドン／＼あげた方が宜い。ナポレオンなどは數學ばかり出來た。やはり秀でた所があつたら其れだけで以てドン／＼上げて發達させた方が宜いと思ふ。私は日本の缺點は暗記であると思ふ。學生に物を工夫させると云ふことは決してしない。是は一つ加藤さんなどに御盡力を願ひたいと思ふて居ります。發明力と云ふものが實に吾々の佛蘭西人に學ぶべき一つの特長と思ひます。聊かつまらない事を申し上げます(拍手)。